

第77期

スター精密株式会社  
中間事業報告書

2002年2月期 株主の皆様へ

STAR'S REPORT

77

star 

## ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととご拝察申しあげます。ここに2002年2月期中間期(2001年3月1日より2001年8月31日まで)の事業報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申しあげます。

当中間期における経済は、世界的な情報技術(IT)関連需要の急激な減速により、米国をはじめ日本、アジアともに個人消費および設備投資が伸び悩むなど不況感が強まりました。また、堅調であった欧州経済もここにきて経済成長率の鈍化がみられるようになり、まさに世界同時不況といった様相が色濃くなってまいりました。

このような情勢のなかで、当社グループは市場ニーズに適合した製品の開発ならびに海外移管の推進・海外生産拠点の拡充など生産体制の強化を図る一方、グローバルマーケットでの積極的な営業活動を展開してまいりました。その結果、電子機器事業におきましては、大型プリンタは中国市場で徴税用インボイス発行向けを中心に売上げは増加いたしました。電子ブザーは携帯電話機市場の冷え込みなどによる影響を受け、売上げは減少いたしました。工作機械事業におきましては、国内およびアジア市場で、IT関連の設備需要後退などの影響により売上げが減少したものの、前期からの受注残に加え欧米における比較的好調な医療関連分野を中心とした設備需要に支えられ、売上げを伸ばしました。精密部品事業におきましては、腕時計部品は継続的な値引き要請などにより苦戦を強いられ、光通信およびパソコン関連部品などの非時計部品も、米国などでの需要低下の影響を受け、売上げは減少いたしました。

以上を総合して、当中間期の連結業績は売上高は255億7千3百万円(前年同期比11.5%増)、営業利益は36億3千7百万円(前年同期比55.9%増)、経常利益は37億8千7百万円(前年同期比64.8%増)、中間純利益は14億2千万円(前年同期比98.9%増)となり、増収増益を達成することができました。

株主の皆様に対する中間配当金につきましては、業績の状況および会社を取り巻く環境などを総合的に勘案するとともに安定配当維持という当社基本方針に基づき、前期末利益配当金と同じく1株につき5円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、世界経済は同時不況とともに国際情勢の緊迫化による経済悪化の懸念が高まるなかで、わが国経済も先行きは極めて不透明感を増し、景気の急回復は望めない状況にあり厳しい経営環境が続くものと予想されます。当社グループといたしましては、長年培ってまいりました小型精密加工・組立技術によりさらに製品の小型化・高精度化技術を追求するとともに生産、販売・サービス体制の基盤強化に努め、ますます多様化する市場に対応してまいります。また、グループ内におけるシナジーの強化およびグローバルな視点での開発・生産・販売の最適化を図る一方、生産リードタイム短縮、在庫適正化を推進するなど収益性の改善、財務体質の強化を図ってまいります。

なお、グループ一丸となって環境の維持・改善活動を推進しており、本年4月に当社電子機器部門の三工場において環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を認証取得いたしました。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成13年11月  
取締役社長

樽岩省三

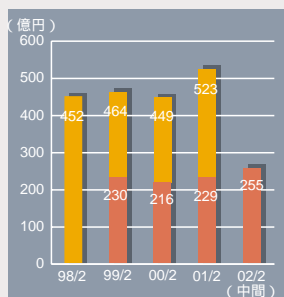
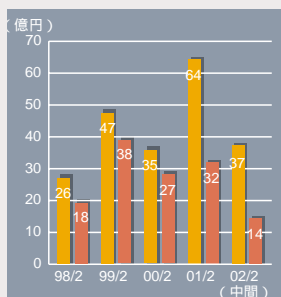


## 連結ハイライト

## 連結主要財務情報

項目	00年2月期		01年2月期		02年2月期	
	中間	年間	中間	年間	中間	
<b>経営成績</b>						
電子機器事業	百万円	12,751	26,408	11,492	28,476	13,716
工作機械事業	百万円	6,904	14,384	9,227	19,410	9,823
精密部品事業	百万円	2,005	4,120	2,217	4,416	2,032
売上合計	百万円	21,661	44,913	22,936	52,304	25,573
電子機器事業	百万円	1,467	3,663	1,395	4,414	2,043
工作機械事業	百万円	1,012	2,038	1,643	3,352	2,248
精密部品事業	百万円	449	902	453	831	456
消去又は全社	百万円	1,167	2,052	1,160	2,246	1,111
営業利益合計	百万円	1,761	4,552	2,332	6,352	3,637
経常利益	百万円	1,358	3,591	2,297	6,477	3,787
中間 当期 純利益	百万円	902	2,702	714	3,273	1,420
1株当たり中間 当期 純利益	円	15.98	47.84	12.64	57.91	25.13
<b>財政状態</b>						
総資産	百万円	61,722	62,950	67,958	72,211	71,314
株主資本	百万円	41,259	42,931	43,428	46,798	47,102
株主資本比率	%	66.9	68.2	63.9	64.8	66.0
1株当たり株主資本	円	730.40	759.48	768.23	827.84	833.20

売上高

年間  
中間経常利益  
中間 当期 純利益

(注) 連結の中間実績については、99年2月期中間期より集計しております。

# 営業の概況

## 電子機器事業

電子ブザーは、携帯電話機市場の冷え込みなどによる影響を受け、売上げは大幅に減少いたしました。マイクロフォン、スピーカーおよびディスポーザブル補聴器用マイクロフォン・レシーバなどの拡販に努めてまいりましたが、成果をみるには至りませんでした。

大型プリンタは、中国市場での販売が増加したことにより売上げは大幅に増加いたしました。徴税用インボイス発行機は中国国税局による管理ソフトウェアの変更があったことにより当中間期の後半は出荷を見合わせております。小型プリンタは、サーマルプリンタの新製品を投入し拡販に努めましたが、ドットプリンタの需要が減少したため、売上げは前中間期水準にとどまりました。

以上の結果、当事業の売上高は137億1千6百万円(前年同期比19.4%増)となりました。

なお、中国での製販体制を強化するため、本年4月に中国大連市にある大連三得電子有限公司への追加出資を行い、子会社化いたしました。



電子ブザー/レシーバ/スピーカー



大型プリンタNX-600

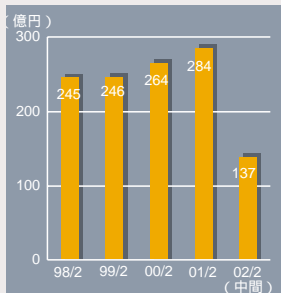


小型プリンタTSP600

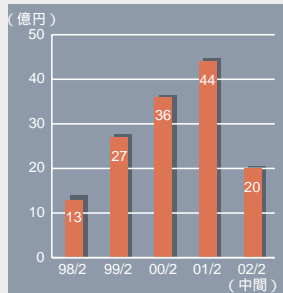


カードリーダー/ライターTCP2000

### 売上高



### 営業利益



# 営業の概況

## 工作機械事業

CNC自動旋盤は、高精度複雑加工を追求した重複合機から、高精度・高生産性を特長とする軽複合機、さらには高生産・旋削加工に徹した単能機に至るまで、市場のニーズに適した製品の開発・販売に努めてまいりました。

国内およびアジア市場においては、IT関連の設備需要後退の影響により売上げが減少したものの、前期からの受注残に加え欧米における比較的好調な医療関連分野を中心とした設備需要に支えられ、売上げを伸ばしました。

以上の結果、当事業の売上高は98億2千3百万円(前年同期比6.5%増)となりました。



SI-12



SA-16R

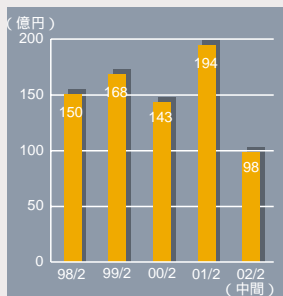


SR-16/20R

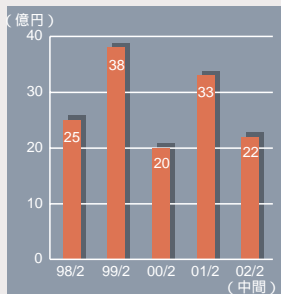


SV-12

売上高



営業利益

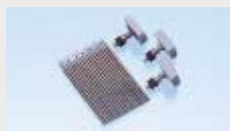


## 精密部品事業

腕時計部品は、時計メーカーからの継続的な値引要請や急速に進む海外現地調達化により苦戦を強いられ、売上げは減少いたしました。一方、精密部品加工技術を応用した非時計部品につきましても、光通信およびパソコン関連部品が、米国などでの急激な需要低下の影響を受け、売上げが減少いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は20億3千2百万円(前年同期比8.3%減)となりました。

なお、海外における生産体制を強化するため、本年4月に中国上海市に子会社上海星栄精機有限公司を設立いたしました。



捲真・インサートボタン



リューズ・ヘッダーネジ・歯車

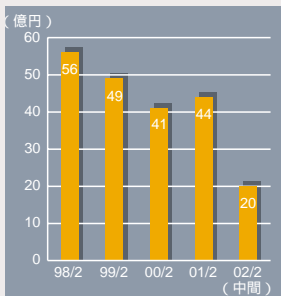


光コネクタ部品

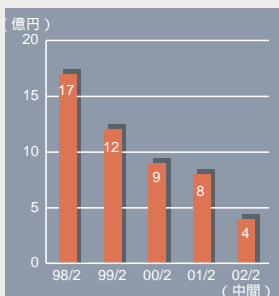


医療用部品

### 売上高



### 営業利益



## 新製品紹介

### 【小型プリンタTSP700/600】

レシート・チケット等発行用サーマルプリンタの新製品2機種です。TSP700シリーズは180mm/秒の高速印字を実現、TSP600シリーズは省スペース化を追求したコンパクトサイズプリンタです。どちらも壁掛け・据置き設置が可能、ドロップイン方式の採用により用紙セットが簡単に行えるなど操作性を考慮し、ビジネスユースに活躍できるコストパフォーマンスに優れた期待の新製品です。



### 【挿入型ステレオヘッドフォンPH-001A】

挿入型ステレオヘッドフォンPH-001Aは、米国補聴器メーカーに供給しているBAレシーバ(超小型磁気平衡型レシーバ)の採用により、3D録音など高品位録音の再生を可能にしました。第一弾のOEM製品の販売を今秋に予定しております。

### 【BAレシーバ RBBシリーズ】



移動体通信機器のさらなる小型化ニーズに対応したBAレシーバ(超小型磁気平衡型レシーバ)RBBシリーズです。動電型レシーバのわずか1/5という省スペースを実現しました。



## 【マイクロフォンMAA-04A-B】

世界最小容積<sup>\*</sup>の超小型コンデンサマイクロフォンMAA-04A-Bです。従来品の製品品質を保持し、さらなる小型化を実現することにより携帯電話端末はもちろん、日々小型化していくあらゆる電子機器製品への集音ニーズに対応可能です。

<sup>\*</sup>当社調べ



## 【ダイナミックスピーカー NCTシリーズ】

世界初<sup>\*</sup>の表面実装型ダイナミックスピーカーNCTシリーズです。NCTシリーズはダイナミックスピーカーのフラットな音響特性と面実装対応サウンドならではの扱いやすさを実現しました。

<sup>\*</sup>当社調べ



## 【スイス型自動旋盤 ECAS-12/20】

ECAS-12/20は、“複雑形状加工をより速く”をコンセプトに開発された高生産型複合加工機です。新たに開発された制御方式(ハイブリッドコントロールシステム)を搭載し、高速・高精度の旋削加工をモーションコントロールシステム、多彩な二次加工をCNCで制御することで、両制御方式の長所を活かした効率的な加工が可能になります。医療部品やコネクタ部品、自動車部品など、幅広い分野での活躍が期待されるニューマシンです。



## 【自動旋盤 SI-12/12C ノンピップアタッチメント仕様】

当社独自のモーションコントロールシステムを採用したSI-12/12Cのノンピップアタッチメント仕様です。これまでは別工程で行っていた加工を機械内で行うことができ、生産の能率アップを実現する本仕様は、ユーザーニーズに応え開発された新たな機能として、SI-12/12Cのさらなる拡販を後押しします。



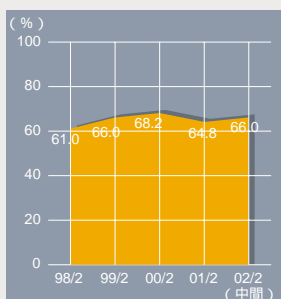
## 主要財務データ(連結)

要約連結貸借対照表

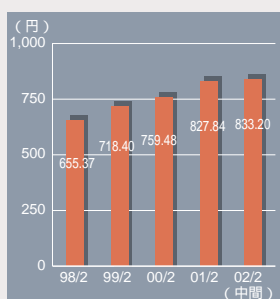
単位:百万円

科目	当中間期 02年2月期中間	前中間期 01年2月期中間	前期 01年2月期
<b>資産の部</b>			
流動資産	43,001	43,512	48,053
固定資産	28,312	21,739	22,643
為替換算調整勘定	-	2,707	1,514
資産合計	71,314	67,958	72,211
<b>負債の部</b>			
流動負債	22,137	22,000	23,868
固定負債	1,865	2,442	1,441
負債合計	24,003	24,442	25,310
<b>少数株主持分</b>			
少数株主持分	208	87	101
<b>資本の部</b>			
資本金	12,721	12,721	12,721
資本準備金	13,876	13,876	13,876
連結剰余金	21,407	16,833	20,202
その他有価証券評価差額金	114	-	-
為替換算調整勘定	787	-	-
自己株式	0	3	2
資本合計	47,102	43,428	46,798
負債、少数株主持分及び資本合計	71,314	67,958	72,211

株主資本比率



1株当たり株主資本



## 要約連結損益計算書

単位:百万円

科目	当中間期	前中間期	前 期
	02年2月期中間	01年2月期中間	01年2月期
<b>営業損益の部</b>			
売上高	25,573	22,936	52,304
売上原価	15,743	14,786	33,863
販売費及び一般管理費	6,193	5,817	12,089
営業利益	3,637	2,332	6,352
<b>営業外損益の部</b>			
営業外収益	407	238	585
営業外費用	257	272	460
経常利益	3,787	2,297	6,477
<b>特別損益の部</b>			
特別利益	70	29	181
特別損失	969	597	1,343
税金等調整前中間(当期)純利益	2,888	1,729	5,315
法人税、住民税等	1,440	1,000	2,013
少数株主利益	26	14	28
中間(当期)純利益	1,420	714	3,273

## 要約連結剰余金計算書

単位:百万円

科目	当中間期	前中間期	前 期
	02年2月期中間	01年2月期中間	01年2月期
連結剰余金期首残高	20,202	16,341	16,341
過年度税効果調整額	-	-	1,092
連結剰余金増加高	96	-	-
連結剰余金減少高	312	222	505
中間(当期)純利益	1,420	714	3,273
連結剰余金中間期末(期末)残高	21,407	16,833	20,202

## 要約連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	当中間期	前 期
	02年2月期中間	01年2月期
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間(当期)純利益	2,888	5,315
減価償却費	1,678	3,204
その他	5,348	501
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	2,052	6,290
連結範囲の変更を伴う子会社出資金の拠出による支出	2,069	-
その他	520	782
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
現金及び現金同等物に係る換算差額	241	371
現金及び現金同等物の増減額	2,040	182
現金及び現金同等物の期首残高	8,809	8,627
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	53	-
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	6,822	8,809

(注) 連結キャッシュ・フローについては、01年2月期より集計しております。

## 主要財務データ(単体)

## 単体主要財務情報

項目	00年2月期		01年2月期		02年2月期	
	中間	年間	中間	年間	中間	
<b>経営成績</b>						
電子機器部門	百万円	11,750	23,590	13,025	30,116	10,529
工作機械部門	百万円	5,229	10,753	6,970	14,663	8,010
精密部品部門	百万円	2,057	4,227	2,279	4,557	2,121
売上合計	百万円	19,038	38,572	22,275	49,337	20,661
(輸出比率)	(%)	(69.2)	(69.4)	(72.1)	(73.9)	(71.8)
経常利益	百万円	1,012	2,421	2,100	6,409	2,165
中間(当期)純利益	百万円	738	1,313	996	2,185	482
1株当たり中間(当期)純利益	円	13.07	23.24	17.63	38.66	8.53
<b>財政状態</b>						
総資産	百万円	54,444	55,128	59,763	63,047	60,467
株主資本	百万円	40,389	40,839	41,613	43,609	43,665
株主資本比率	%	74.2	74.1	69.6	69.2	72.2
1株当たり株主資本	円	714.92	722.40	736.09	771.40	772.38

## 要約単体貸借対照表

単位:百万円

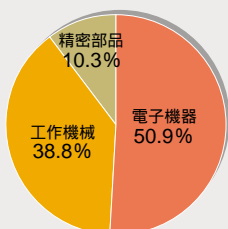
科目	当中間期	前中間期	前期
	02年2月期中間	01年2月期中間	01年2月期
<b>資産の部</b>			
流動資産	30,792	34,478	38,256
固定資産	29,674	25,284	24,790
資産合計	60,467	59,763	63,047
<b>負債の部</b>			
流動負債	14,966	16,646	18,023
固定負債	1,835	1,503	1,413
負債合計	16,802	18,149	19,437
<b>資本の部</b>			
資本金	12,721	12,721	12,721
法定準備金	14,640	14,577	14,605
剰余金	16,416	14,313	16,282
その他有価証券評価差額金	114	-	-
資本合計	43,665	41,613	43,609
負債及び資本合計	60,467	59,763	63,047

要約単体損益計算書

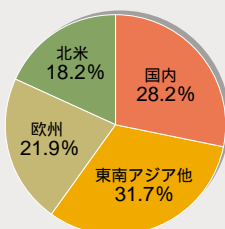
単位:百万円

科目	当中間期 02年2月期中間	前中間期 01年2月期中間	前期 01年2月期
<b>営業損益の部</b>			
売上高	20,661	22,275	49,337
売上原価	14,842	16,334	35,244
販売費及び一般管理費	3,894	3,923	8,028
営業利益	1,924	2,017	6,064
<b>営業外損益の部</b>			
営業外収益	510	325	737
営業外費用	269	242	392
経常利益	2,165	2,100	6,409
<b>特別損益の部</b>			
特別利益	171	29	170
特別損失	1,329	513	2,264
税引前中間(当期)純利益	1,007	1,616	4,315
法人税、住民税等	524	620	2,130
中間(当期)純利益	482	996	2,185
前期繰越利益	5,325	2,651	2,651
過年度税効果調整額等	-	-	1,140
中間配当額	-	-	282
利益準備金積立額	-	-	28
中間(当期)末処分利益	5,807	3,648	5,666

部門別売上高構成比(%)



地域別売上高構成比(%)





## 主な海外子会社

会社名/所在地	資本金	持株比率	区分
スターマイクロニクス アメリカ・INC( SMA ) アメリカ・ニュージャージー	6,000千米ドル	100% (100)	販売会社
スターマイクロニクス アジア・LTD( SMH ) 香港・九龍湾	1,000千香港ドル	100%	販売会社
スターマイクロニクス UK・LTD( SMU ) イギリス・ハイヴィッカム	4,600千英ポンド	100%	販売会社
天星精密有限公司 香港・九龍湾	1,000千香港ドル	70%	生産会社
斯大精密(大連)有限公司 中国・大連市	41,670千米ドル	100%	生産会社
スターマイクロニクス・AG( SMAG ) スイス・チューリッヒ	5,000千スイスフラン	100%	販売会社
A&S プレジジョンマシンツールズ・LTD( A&S ) イギリス・ダーバイシャー	130千英ポンド	100%	販売会社
スターマイクロニクス MFGドイツ・GmbH( SMMMD ) ドイツ・アルツァイ	7,700千独マルク	100% (1)	その他
スターCNCマシンツールCorp.( SMTTC ) アメリカ・ニューヨーク	1米ドル	100% (100)	販売会社
ラグロWH・GmbH&Co.KG( LAGRO ) ドイツ・ノイエンピュルグ	977千独マルク	100% (100)	販売会社
スターアメリカホールディング・INC( SAH ) アメリカ・デラウェア	10,000千米ドル	100%	持株会社
大連三得電子有限公司 中国・大連市	108,068千人民元	98% (5)	生産会社
上海星榮精機有限公司 中国・上海市	2,000千米ドル	60%	生産会社

(注)持株比率の欄の( )内は、間接所有割合。

## 主な国内子会社

会社名	所在地	資本金	持株比率	区分
㈱ミクロ岳美	静岡県静岡市	10百万円	100%	生産会社
新岩田電子㈱	静岡県静岡市	20百万円	90%	生産会社
㈱ミクロ安倍口	静岡県静岡市	10百万円	100%	生産会社
東新精機㈱	静岡県小笠郡菊川町	10百万円	100%	生産会社
㈱ミクロ札幌	北海道石狩市	250百万円	100%	生産会社
㈱ミクロ富士見	静岡県静岡市	15百万円	100%	その他
オーエスメタル㈱	静岡県小笠郡菊川町	30百万円	66.7%	生産会社
新星総業㈱	静岡県清水市	10百万円	100%	その他
㈱ミクロ菊川	静岡県小笠郡菊川町	50百万円	100%	生産会社

# 会社の概況 (平成13年8月31日現在)

## 会社概要

設立	昭和25年7月6日
資本金	127億2千1百万円
従業員数	952名
営業品目	1.電子機器(電子ブザー、マイクロフォン、スピーカー、レシーバ、大型プリンタ、小型プリンタ、カードリーダー) 2.CNC自動旋盤等工作機械 3.腕時計部品、通信機器用精密部品、自動車関連用精密部品、医療関連用精密部品

## 役員

代表取締役 取締役社長	糟谷 省三	取締役	興津 智彦
専務取締役	小塚 紀宗	取締役	鈴木 完次
常務取締役	鈴木 俊弘	取締役	伏見 千秋
取締役	佐藤 肇	監査役(常勤)	松尾 辰之
取締役	金子 忠邦	監査役	今林 勲
取締役	藤原 英夫	監査役	石井 浩
取締役	岡本 憲昭	監査役	沼田 勝意
取締役	加藤 昌弘		

(注) 監査役 今林 勲、石井 浩、沼田勝意の3氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

## 事業所

### 本社・機械事業部(営業部)

〒422-8654 静岡県静岡市中吉田20番10号  
TEL.054-263-1111

### 電子機器事業本部

庵原工場 〒424-0066 静岡県清水市七ツ新屋536番地  
TEL.0543-47-0111

中吉田工場 〒422-8001 静岡県静岡市中吉田18番9号  
TEL.054-261-7721

瀬名川工場 〒420-0913 静岡県静岡市瀬名川二丁目29番33号  
TEL.054-261-2431

### 機械事業部

菊川工場 〒439-0023 静岡県小笠郡菊川町三沢北ノ谷1500番地34  
TEL.0537-36-5511

東京営業所 〒101-0047 東京都千代田区内神田二丁目3番6号 楓ビル5階  
TEL.03-5256-2656

大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原四丁目1番45号 新大阪八千代ビル6階  
TEL.06-6395-1559

名古屋営業所 〒465-0043 愛知県名古屋市名東区宝が丘25番地 グローバル25 5-A  
TEL.052-777-1505

諏訪営業所 〒392-0012 長野県諏訪市大字四賀2258番地の7  
TEL.0266-58-8132

北関東営業所 〒373-0819 群馬県太田市新島町744番地 松浪ビル2階  
TEL.0276-49-1211

### 精密部品事業部

富士見工場 〒424-0065 静岡県清水市長崎391番地  
TEL.0543-46-0234



―美に驚かされ、  
やがては水音に癒され、  
深い安らぎに陥っていく―

# 永明寺

富士山の麓に佇む古刹は「永明寺」。歴史は深く、遡ること天平年間。僧行基により真言宗派の寺としてこの世に誕生しました。後に曹洞宗に改宗をし、現在にいたります。境内には不動堂、白山稲荷、子育て地藏、水子地藏、そして七福神や六地藏などが佇みます。

この永明寺。特筆すべきは、東海随一ともいわれる庭園“富士乱水の庭”。富士山の湧き水の恩恵を受け、庭全体に小さな滝が幾つも流れ落ち



【いぼとり不動】寺の東側にある不動堂の滝が落ちるところに祀られている不動明王。水をかけるとイボが取れるといふことからその名がついた。

ることから、このように呼ばれています。流れ出した水は、客殿を取り囲むようにしながら澄み渡った池をつくり、ヤマメやニジマス、鯉などが悠々と泳ぐ様が見受けられます。また庭園には四季折々によって梅や桃や桜が、百合や彼岸花、そして百日紅等が鮮やかに咲き乱れ、初夏には源氏ボタルが舞い踊ります。そして晴れた日には、小高い丘の一番奥の木々の間に、ひょこり顔をのぞかせる、名峰・富士山。古刹にはもうとしへの人の、自然そのものを楽しくするという知恵が随所に散りばめられ、その素晴らしさに驚かされることがしばしばあります。

また、永明寺の素晴らしさはこれらにとどまりません。湧水に加えて、滝川の清流に恵まれており、旧くは水車の設置を人々に勧めたり、水源に不動尊を祀って水の功德を称えるなど、水との関わりが深いのです。また、富士の製紙工場の発展はこの湧水を使ったのがはじまりだといわれ、今な

お送水は続けられています。近隣の住宅へ簡易水道としての配水も行われ、地域に貢献をし続けているのです。

人は皆、美しくありたいと願い、美しいものに出遭いたいと望んでいます。この名刹の、心をひどく奪われることにおいては、美も過ぎれば葉。誤解を怖れずにいえば、毒のようだといわざるをえません。客殿に座した時、その圧倒的な美に時は止まり、目に見える全てのものに魅せられながら、絶え間なく続く“水音”にやがて気づくことでしょう。この寺を包み込むのはまさに“水”。水と水音に内包された時、心は深い安らぎを覚え、再び立つことなどできなくなりそうなほどなのです。



【本堂】歴史は古いが、長い時を経ながら幾度となく天災にみまわれ、再建を余儀なくされてきた。現在の堂宇は大正12年に完成。

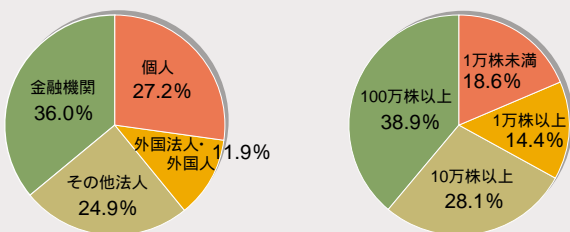
【七福神】七福神の大きな石像が七体、庭の小高い丘の上に乱立している。これらを目当てに訪れるひとも多いとか。



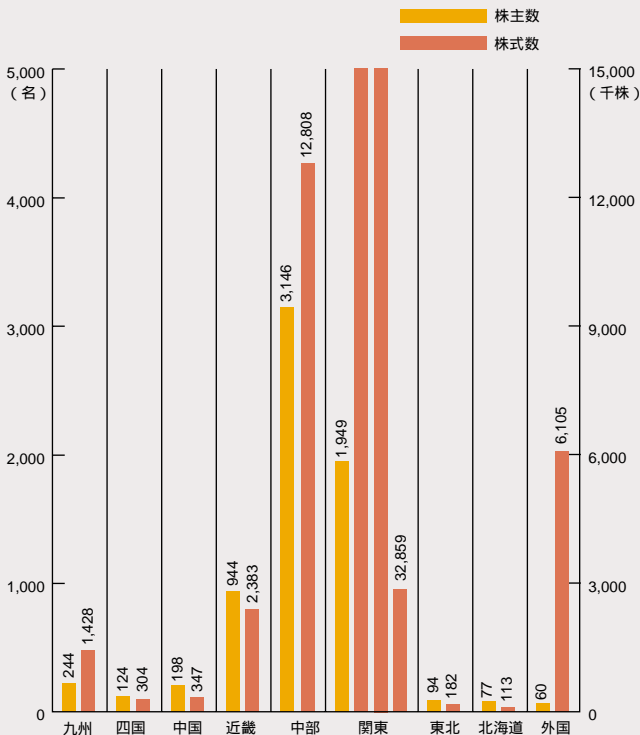
# 株式の状況 (平成13年8月31日現在)

発行する株式の総数	160,000,000株
発行済株式の総数	56,533,234株
株主数	6,836名
1人平均持株数	8,270株
当期中の名義書換件数	127件
当期中の名義書換株式数	2,220,298株

## 所有者別・所有株数別分布状況



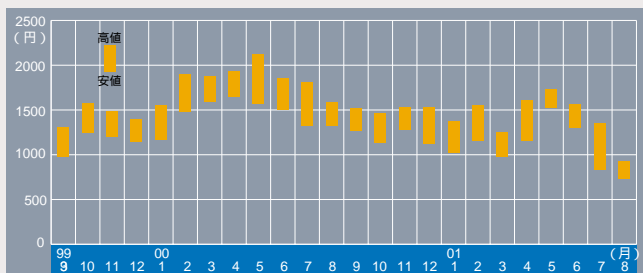
## 地域別分布状況



## 大株主(上位10名)

	持株数(千株)	持株比率(%)
シチズン時計(株)	8,658	15.3
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン	2,463	4.4
(株)第一勧業銀行	2,348	4.2
東洋信託銀行(株)(信託勘定A口)	1,631	2.9
(株)静岡銀行	1,582	2.8
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	1,581	2.8
三菱信託銀行(株)(信託口)	1,398	2.5
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) ・住友信託退給口	1,341	2.4
リズム時計工業(株)	1,005	1.8
朝日生命保険(株)	919	1.6

## 過去2年間の株価の推移 東京証券取引所市場第一部における高値/安値



## 株式についてのご案内(平成13年10月1日現在)

決算期	2月末日
定時株主総会	5月
配当金	利益配当金受領株主確定日 2月末日 中間配当金受領株主確定日 8月31日
基準日	毎年2月末日現在の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載された株主をもって、その期に関する定時株主総会において権利を行使すべき株主とみなします。
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 東京証券代行株式会社
同事務取扱場所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号(新丸ビル) 東京証券代行株式会社 本店 Tel.03-3212-4611(代表)
同取次所	東京証券代行株式会社 営業所および各取次所
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部 ドイツ・フランクフルト証券取引所
公告掲載新聞	日本経済新聞
1単元の株式数	1,000株



## スター精密株式会社

本社 / 〒422-8654

静岡県静岡市中吉田20番10号

TEL. 054-263-1111 FAX. 054-263-1057

<http://www.star-micronics.co.jp>

**R100**  
古紙配合率100%再生紙

 **PRINTED WITH  
SOY INK**

環境に配慮した「大豆油インキ」  
を使用しています。